

JMS (Japan Melanoma Study: 皮膚悪性黒色腫の臨床統計調査) について

神戸大学医学部附属病院皮膚科では標題の臨床研究を実施しております。概要は以下のとおりです。

① 試料・情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)

利用目的

皮膚悪性黒色腫は欧米に比べて本邦での発生数は少なく、単一施設での症例集積が困難な腫瘍の一つです。従って、多施設の症例を集積してその発生状況の傾向や、現在行われている検査や治療の妥当性について検討する必要があります。皮膚悪性黒色腫の症例数、新規発症数、発症年齢など基本的臨床統計の把握し、累積データから、病型の変動、検査法の使用頻度や精度の推定、治療成績の推移、生存率などの予後調査を行います。

研究対象者

2006 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに当院で悪性黒色腫と診断された患者様

研究期間

2018 年 5 月 23 日～2026 年 3 月 31 日

研究の方法

研究①全国定点調査では本研究の趣旨に賛同し、本研究計画に協力していただける全国の約 100 施設に調査用紙を送付します。各施設では調査項目を記入したうえで、研究会事務局に送付します。事務局は各施設から送付された調査用紙を収集し、一括して登録します。登録項目は添付資料 1 に示します。

研究②全国追跡調査では、本研究の分担研究施設で倫理委員会等で本研究計画を承認していただける 27 施設の担当者が当委員会によって作成された登録項目を列挙した Web 上の登録専用ホームページにアクセスし (大学病院医療情報ネットワーク研究センターのシステム)、調査項目を入力します。過去の登録症例も追跡調査を行います。

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

診療記録 (年齢, 性別, 腫瘍の状態, 治療経過, 予後など)

③ 利用する者の範囲

筑波大学	皮膚科	藤澤 康弘
札幌医科大学	皮膚科	宇原 久
旭川医科大学	皮膚科	上原 治郎
北海道大学	形成外科	古川 洋志
東北大学	皮膚科	藤村 卓
埼玉県立がんセンター	皮膚科	石川 雅士
埼玉医科大学	皮膚科	土田 哲也
埼玉医科大学国際医療センター	皮膚腫瘍科	山本 明史
東京大学	皮膚科	山田 大資

日本医科大学	皮膚科	帆足 俊彦
国立がんセンター中央病院	皮膚科	山崎 直也
虎の門病院	皮膚科	林 伸和
信州大学	皮膚科	皆川 茜
新潟県立がんセンター	皮膚科	竹之内 辰也
富山県立中央病院	皮膚科	八田 尚人
浜松医科大学	皮膚科	藤山 俊晴
県立静岡がんセンター	皮膚科	清原 祥夫
岐阜大学	皮膚科	松山 かなこ
名古屋大学	皮膚科	横田 憲二
大阪市立大学	皮膚科	加茂 理英
京都府立医科大学	皮膚科	浅井 純
産業医科大学	皮膚科	日野 亮介
九州大学	皮膚科	内 博史
福岡大学	皮膚科	柴山 慶継
熊本大学	皮膚科	尹 浩信
岡山大学	皮膚科	山崎 修

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

筑波大学皮膚科(代表研究機関) 藤澤 康弘

神戸大学皮膚科 中野 英司

⑤ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること。

患者さんやご家族(ご遺族)が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑥ ⑤の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法

下記にご連絡ください

神戸大学医学部皮膚科: 〒655-0872 兵庫県神戸市中央区楠町7-5-1

所属・担当者名: 皮膚科 中野 英司

電話: 078-382-6134(平日10~17時)